
～三人の思い！！～

江戸川 哀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

～三人の思い！！～

【Nコード】

N2984E

【作者名】

江戸川哀

【あらすじ】

この小説は光彦の思いとコナンの思いと灰原の思い三人の思いが書いてあります。ぜひ読んでみて下さい！！

(前書き)

光彦の思いが書いてあります!!

僕は円谷光彦です！

僕は今好きな人がいます！！その人とは歩美ちゃんと灰原さんです……！！二人共好きになっちゃいました（汗）

歩美ちゃんの好きなどころは、可愛いからです！！（／／／／）

灰原さんは、いつも口調は厳しいけど、実は凄く優しいんです（／／／／）

でも灰原さんはいつもコナン君と仲良く話しているんです。だから僕はいつも灰原さんを遠くから見つめているんです……、コナン君にはかなわないですから、でも、僕は諦めませんよ！！

（ 帰り道 ）

いつものように下校している少年探偵団の皆！ポジションはいつものように前に元気な元太、光彦、歩美の三人である！

その後ろにやけに大人びた雰囲気をもつコナンと哀、

三人共後ろでコナンと哀が何を話しているか前はとても気になるようだったがこれは毎日のように続いたので三人共諦めていた……（汗）

そんな中コナンと哀の話し……！！

コ〈あっ…あのさあ…?〉

哀〈何よ?〉

哀がコナンの方を見る! コナンは思った

コ〈(こっえ)(汗) 呼んだだけでそんな反応するなよ…〉

哀〈何にもないの?〉と哀が聞くとコナンは

コ〈今日そっち行くから…〉

哀〈ふ…ん? 何しに?〉

コ〈ああ? 麻醉銃が故障しちゃってな〉

哀〈ふ…ん? でも今日博士学会でいないわよ?〉

コ〈えっ? まぢ?〉

哀〈ええ…まぢよ〉

コ〈やっべくなあ〉

哀〈何が?〉

コ〈実は今日博士とこ泊まる予定だったんだよ…蘭とおっちゃんがいなくて今日は俺一人だからって蘭が博士のところにも泊まっ
てきなさいって言われててそのついでに麻醉銃なおしてもらおうと
思っただけだなあ…〉

哀〈で? どうするのよ?〉

コ〈そっちに泊まるよ…お前一人にすると危ないからな〉
するとコナンは白い歯を見せニカッと笑った

哀〈たっく…しょうがないわね…わかったわ泊まりなさい〉

コヘサンキュー（笑）　　またコナンが白い歯をニカッとしたので哀はその顔にドキッとしたのは哀しか知らない…（笑）そしてコナンと哀は元気な三人と別れ二人つきりになった。

　　二人つきりの帰り道　

コナンはなぜかいつも以上に緊張していた……。

コヘ（何で灰原がいるだけでこんなにも心臓がドキドキするんだ？）　　

コナンは自分の心の変化に気付いていなかった。灰原というだけでドキドキする。これは立派な恋である！そんな事もしらずコナンはひたすら考えるのである。

哀へどうしたの？　と哀が聞きながらコナンの顔を覗き込む。

コヘえっ！？　いやあ　　別に？　　

哀へ工藤君？　あなた何か隠してる？　

さすが哀！！　鋭い！　しかし灰原に恋してるとも知らないコナンは

コヘえっ！？　いやあ……その……なんだ？　

哀へ私が聞いているのにあなたがなんだ？　って聞くのおかしい？　　さらに疑いだす哀！

コヘいやあ？　今日は何しようかあ？　と思って……ハハハハ（汗）　　何とかごまかした…

哀へあなたはどうせ推理小説でも読むんでしょう？　

哀が今までに見せた事のない微笑み方をしたのでコナンは顔が真っ赤になる……。コナンは気づいた。

コヘそうかあ。俺は灰原の事が好きだったんだ……。

そしてついに阿笠家に着いた……。

（阿笠家）

家に着くなり哀が

哀へ「コーヒー飲む？」

と聞いてきたのでコナンは、

コナンへ「ああ……。頼むよ……。」

哀へ「はい。どうぞ」

コへ「おお。サンキュー」

哀へ「じゃあ私は地下室にいるから」コへ「ああ……。…」
とコナンが言うと哀は階段を下りた……。とその時……。

コへ「なあ？ 灰原……あんまり無理すんなよ？」

哀へ「あら？ 心配してくれるの？ ありがとう」
と言うと同時にさっきより凄く可愛く笑った。コナンはまた顔を赤くする。

コへ「（ヤバイなあ俺まぢで灰原の事を好きになっちゃったみたいだぜ……どうすっかなあ？ 告白しようかなあ？ ハァ……どうしたら良いんだあ？？）」

一人ソファーに座りながら考え込むコナン……。コへ「ああ……。…」
とコナンが言うと哀は階段を下りた……。とその時……。

コへ「なあ？ 灰原……あんまり無理すんなよ？」

哀へあら？心配してくれるの？ありがとう
と言うと同時にさっきより可愛く笑った。コナンはまた顔を赤くする。

コへ（ヤバイなあ俺まぢで灰原の事を好きになっちまったみたいだぜ……どうすっかなあ？告白しようかなあ？ハァーどうしたら良いんだあ？？）

一人ソファーに座りながら考え込むコナン……。考え込む事1時間、コナンはいつのまにか眠っていた。

　　その頃哀は

哀へハァー今日はこれくらいにしとこうかな

そして哀はリビングに行くとき持ち良さそうに寝ているコナンに目がいった。

哀へ（気持ち良さそうに寝ているわね……。ったくしょうがないわね）

哀はコナンに毛布をかける。

そして哀は微笑む。

夕方頃コナンは目が覚めた。

コへ（灰原の事を考えてたら寝ちゃった）

コへハァー

哀へあら？やっと起きたのね？

コへああ……。ちょっと考え事してたら寝ちゃってな……

哀へふーん。また事件……

コへいやあ……そう言うんじゃないんだよなあ……。<

哀へじゃあ何よ？< コナンは焦る……

コへ（ここまでだな……ここで言うかあ……<

コへ実はさあ……俺好きな人が出来たみたいなんだ……<

哀へへえ、蘭さんに二度も惚れたとか？< 哀はクスツと笑う。

コへいや……蘭じゃないんだ……俺気づいたんだ……蘭の事は好きだ！でもそれは恋愛の好きじゃなくて家族として好きだったんだ……。家族愛だったんだ……。

哀へえっ！？あなた何を言ってるの！？じゃああなたの好きな人って？？<

コへ俺の好きな人はお前だ！！俺の好きな人は灰原だ！<

哀へえっ！？でも……<

コへお前は俺の事どう思ってるんだ？<

哀へ実は私もあなたの事が好き……。でも蘭さんはどうするの？待っててくれって言ったんでしょ？<

コへああ……。でも後で電話をかけるよ……。これが俺のケジメだからよ<

哀へケジメ？<

コへああ…。そうさへ

哀へでも私なんかで良いの？へ

コへお前じゃなきゃ嫌だ!!へ

哀へ工藤君……へ

コへ灰原……へ

そして二人は見つめ合いキスをした…。

哀へこれからもよろしくね工藤君……。へ

コへこちらこそへ

そしてまたキスをした今度は長めのキス……。そして博士が帰って来るまで甘くいいひと時を過ごしたのでした……。

(後書き)

どうでしたか？複雑でしょう？でも最後まで読んで下さいね！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2984e/>

～三人の思い！！～

2011年1月1日14時39分発行